

5. 計画の実現に向けて

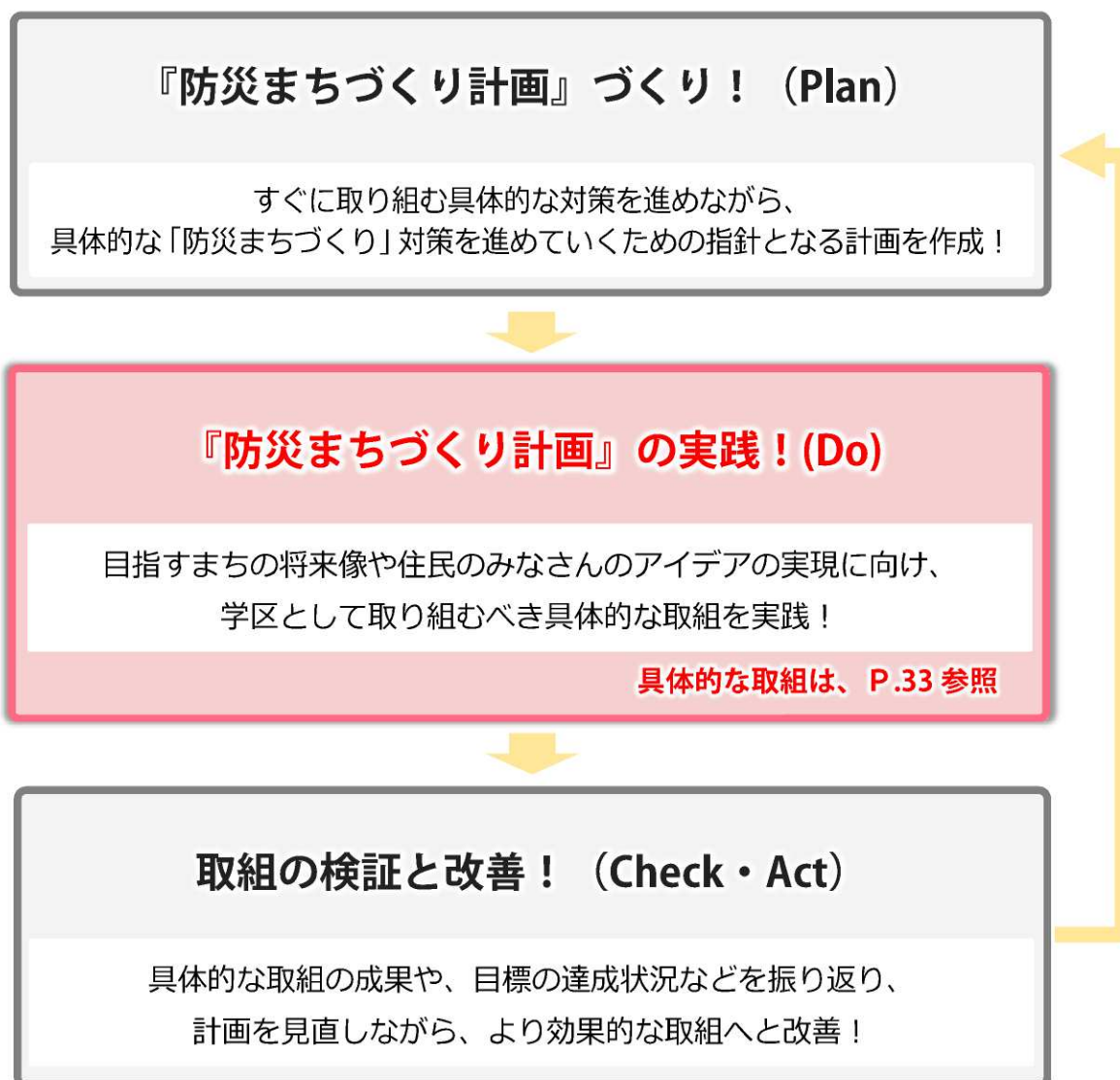
(1) 基本的な進め方

正親学区では、平成 27 年度から災害につよいまちづくりの取組を進めるとともに、様々な活動の中で住民のみなさんから「防災まちづくり」に関するご意見やアイデアをいただきながら、『防災まちづくり計画』を検討してきました。

これからの 3 年間は、『防災まちづくり計画』に基づき、目指すまちの将来像の実現に向けて、各町内での具体的な対策や学区全体での取組などを進めていきます。

その後も、『防災まちづくり計画』を実践しながら、各取組の達成状況や結果などを確認・検証し、災害につよく安心・安全なまちづくりのための取組へと改善していくことにより、より良い『防災まちづくり計画』へと見直していきます。

これからの取組の進め方のイメージ



(2) 3年間の取組イメージ

— みんなで『防災まちづくり計画』を実践していきましょう！ —

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	3 年間の目標！	平成 33 年度～
いえ	★すまいの耐震大作戦の実施！ 学区全体に耐震呼び掛け① 家具の固定等の安全対策 P R			・学区全体で家の中の安全対策を実施する！ ・町内会が町内の空き家の情報を把握している！	継続
みち	・エリア別計画の学習 ・町内の空き家やゲストハウスなどの確認 ・避難経路や避難場所、「地域の集合場所」の確認・共有	★すまいの耐震大作戦の実施！ 学区の防災上重要な道路沿道建物の耐震呼び掛け②	避難を支える大きな道路につながる道の沿道建物の耐震呼び掛け③	・学区全体に耐震化の重要性を伝える！ ・路地の適正管理、安全対策を進める！	①②③を毎年実施
まち	★安全な避難場所の整備！ 「地域の集合場所」、避難経路の確認 『防災まちづくりマップ』・防災表示板づくり ★正親小学校の防災まちづくり学習との連携！ 小学生の防災まちあるきへの参加・連携、結果の反映 ★路地の雰囲気将来につなぐ計画づくり（東西俵屋町など）！	「地域の集合場所」の見直し お寺や駐車場などの避難場所としての活用		・町内で「地域の集合場所」や避難経路を把握している！ ・『防災まちづくりマップ』をつくる！	継続 継続
コミュニティ	★町内会の防災力を高める！ ★コミュニケーションを充実する！ ★『防災まちづくり』の体制を整える！			・学区や町内全員が「防災まちづくり」の取組に参加する！	継続
その他の取組	平日日中の災害に備える対策マニュアルづくりとの連携！ 平日日中の災害に備える対策の検討と合わせたソフト対策の検討 地域住民と連携した災害時の避難誘導體制、連絡体制、子どもの見守り体制、避難所の運営方法などの検討	マニュアル作成	対策マニュアルをもとに、対策の実施や体制づくりを推進	・みんなが協力して安全に避難できる体制をつくる！	継続
すぐに取り組む具体的な対策	★すぐに取り組む具体的な対策の実施！ 緊急避難扉の設置、防災ひろばの整備など	対策候補箇所 東西俵屋町・山王町・福本町・新白水丸東町・亀木町		・全ての対策候補箇所で対策を実施！	その他の対策候補箇所の検討

目指すまちの将来像
地域の絆を深め、みんなでつくる
安心・安全、住みよきまち
正親

(3) 学区の取組と連携した年間の取組イメージ

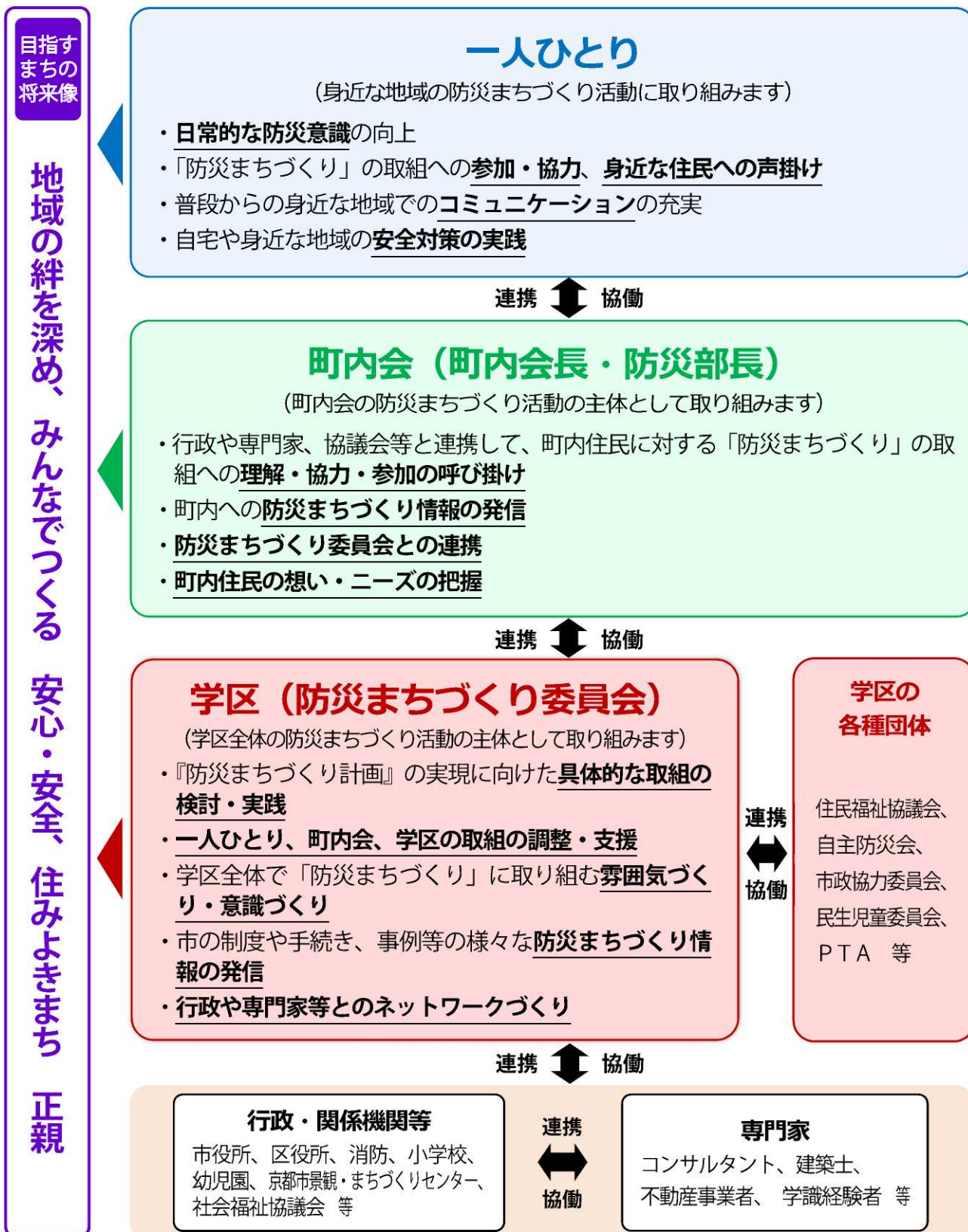
▽具体的な取組メニュー（案）▽



(4) 主体ごとの役割と具体的な取組

①一人ひとり、町内会、学区の役割

「目指すまちの将来像」の実現に向けて、一人ひとり、町内会、学区のそれぞれでできることから取り組んでいき、各主体が相互に連携・協力しながら、具体的な取組を進めていきます。



②方針ごとの一人ひとり、町内会、学区の具体的な取組

目指すまちの将来像を実現するために、一人ひとり、町内会、学区がそれぞれの役割のもとで検討・実践する具体的な取組は、以下のとおりになります。

い え	一人ひとり	町内会 (町内会長・防災部長)	学区 (防災まちづくり委員会)
方針1. 家の中の安全対策に取り組む	家具の転倒防止、感震ブレーカーの設置などの安全対策の実施	町内での家の中の安全対策の呼び掛け (回覧に掲載)	- 正親小学校における防災まちづくり学習への支援 - 家の中の安全対策を学区全体に意識啓発 (正親だよりでの情報発信)
方針2. 地震や火災に強い家づくりに取り組む	自宅の耐震診断、耐震・防火改修の実施	- 回覧での定期的な耐震助成等の情報発信 - 家の改修方法などに関する知識や経験の共有 - 借家の所有者への耐震診断、耐震・防火改修の呼び掛け	「すまいの耐震大作戦」での耐震診断、耐震・防火改修等の意識啓発
	市政協力委員会や自主防災会の総会、地藏盆などの機会を活用して、耐震助成や「防災まちづくり」の取組についてPR！		
方針3. 空き家等対策に取り組む	所有する空き家の適正管理	- 町内の空き家情報の把握 - 回覧での空き家対策の情報発信 - 空き家所有者への適正管理の呼び掛け - ゲストハウス管理者への適切な管理・運営の呼び掛け	- 町内会と連携した空き家情報の把握 - 学区の取組と連携した空き家化の予防講座の実施 - 空き家対策に関する勉強会の実施 「防災まちづくり」を学ぶ場としての空き家の利活用の検討
	空き家対策や住宅の耐震化、「防災まちづくり」の取組に関して相談できる専門家のリストの作成・配布！		

：取組を進める上でのアイデア

み ち	一人ひとり	町内会 (町内会長・防災部長)	学区 (防災まちづくり委員会)
方針4. 災害時の避難経路を確認・共有する	災害時の避難経路の確認	- 町内での避難方法を複数検討 - 回覧での災害時の避難場所や避難経路の共有	平日日中の災害に備える対策と連携した避難経路の安全性の確認
	小学校の防災まちづくり学習と連携し、家族で防災情報を共有！		
方針5. 路地を日頃から適切に管理する	路地の適正管理と住民のみなさんへの声掛け（自動車や自転車、植木などの整理）	路地の適正管理に関するルールづくり、回覧での呼び掛け（駐車や駐輪、植木などの整理）	路上への駐車、駐輪、植木の整理、路地の適正管理を学区全体で意識啓発（正親だよりに掲載）
方針6. 安全に避難できる「路地」をつくる	安全に避難できる「路地」づくりへの協力（袋路始端部の建物の耐震化・防火対策、古いブロック塀の改善、袋路の2方向避難経路の確保、路地の段差の解消など）	安全に避難できる「路地」づくりの実践に向けた関係者への協力の呼び掛け（所有者の思い・ニーズの把握）	- 安全に避難できる「路地」づくりへの意識啓発 - 路地の入口に、通り抜け可能か袋路（行き止まりの路地）かの表示板の設置
	京都市共通のイラストなどを使った防災に関する表示板の作成！		
方針7. 骨格となる道の安全性を高める	- 建替え時のセットバックの実施 - 住民のみなさんへの道路状の整備の声掛け	- 建替えに合わせたセットバック、道路状の整備の呼び掛け - 学区などと連携したセットバックや道路状の整備に関するルールづくり	「すまいの耐震大作戦」での沿道建物の耐震化・防火対策の意識啓発 - 行政などと連携した建替え時のセットバックと道路状の整備の指導等に関する取り決めの検討
	- 建替えしそうな建物があれば、町内会や学区と共有！ - 学区の防災上重要な道路などでは、電柱の移設を業者に依頼！		

：取組を進める上でのアイデア

ま ち	一人ひとり	町内会 (町内会長・防災部長)	学区 (防災まちづくり委員会)
方針 8. 安全な避難場所をつくる	・「地域の集合場所」の確認 ・安全な避難場所をつくる取組への協力	・「地域の集合場所」への看板の設置 ・「地域の集合場所」の共有・再検討 ・安全な大型店舗等への避難の検討	・小学校や公園への「かまどベンチ」などの災害時に役立つ防災設備の設置 ・「地域の集合場所」などを示した『防災まちづくりマップ』の作成
・ 小学校と連携したステッカーの作成、各町内の防火バケツに「地域の集合場所」のステッカーを貼るなど、学区全体に広く情報発信！			
方針 9. 身近な地域の防災環境を整える	・ 所有する井戸の適正管理、活用方法の検討	・ 災害時に使える井戸の確認、所有者への活用の呼び掛け ・ 拡声器や防災ベルなどの防災設備の整備、メンテナンス ・ 各町内の防火バケツの設置	・ 防災用の掲示板などの設置 ・ 災害時に使用できる井戸の表示板の設置 ・ 災害時にも使用できる災害救援自販機の設置 ・ 防火バケツなどの設置の意識啓発
・ 町内の広報板やバス停など、人の目に留まるところ、人が集まるところに防災情報を掲示！			
方針 10. 路地の雰囲気をつなぐ路地単位の計画づくりを進める	・ 路地を大切にした保全・再生の取組への協力と声掛け	・ 路地を大切にした保全・再生の検討 ・ 住民のみなさんの想いの把握	・ 路地の魅力の発信
・ 路地全体の雰囲気を大切に残しながら、学区のモデルとなる路地を整備し、PR！			

：取組を進める上でのアイデア

コミュニティ	一人ひとり	町内会 (町内会長・防災部長)	学区 (防災まちづくり委員会)
方針 11. 町内会の防災力を高める	・防災意識を高め、防災に関する取組などへの参加・協力をする ・個人での災害時の備蓄、住民のみなさんへの声掛け	・町内の高齢者の確認・見守り ・災害時の安否確認など、災害時の避難の際のルール・体制づくり ・町内単位での災害時の備蓄、必要な物のリスト化	・町内会と連携した学区の高齢者の名簿づくり ・高齢者の救助などに関する方法の検討、訓練の実施
・向こう三軒両隣で、高齢者などの災害時に支援が必要な人の把握！			
方針 12. コミュニケーションを充実する	・日頃からのコミュニケーション、声掛け	・マンション住民との交流 ・町内会加入の呼び掛け ・地域行事などでの情報交換 ・町内の団体やグループなどとの連携・協力	・町内会への加入を促す情報発信 (正親だよりに掲載)
・市民しんぶんなどで、町内会加入のメリットなどを記載！ ・マンション建設時に、町内会への加入など、町内会との取り決めを進める！			
方針 13. 「防災まちづくり」の体制を整える	・「防災まちづくり」の取組への積極的な参加・協力 ・住民同士での防災情報の交換	・町内会長、防災部長への情報の引継ぎ ・商店会等と連携した防災に関する情報発信	・小学校と連携した防災まちづくりの取組の実践 ・自主防災会との情報共有 ・各世代の防災リーダーの育成 ・店舗等と災害時の協定の締結、引継ぎ
・避難の際に支援が必要な人や、ペットとの避難の方法などに関するセミナーを開催！ ・子どもや高齢者などが優先的に避難できる体制の整備！ ・区民運動会などで、防災に関するゲームを実施し、意識啓発！			

：取組を進める上でのアイデア

正親学区 防災まちづくり計画

【発行】正親学区 防災まちづくり委員会
平成 30 年 3 月